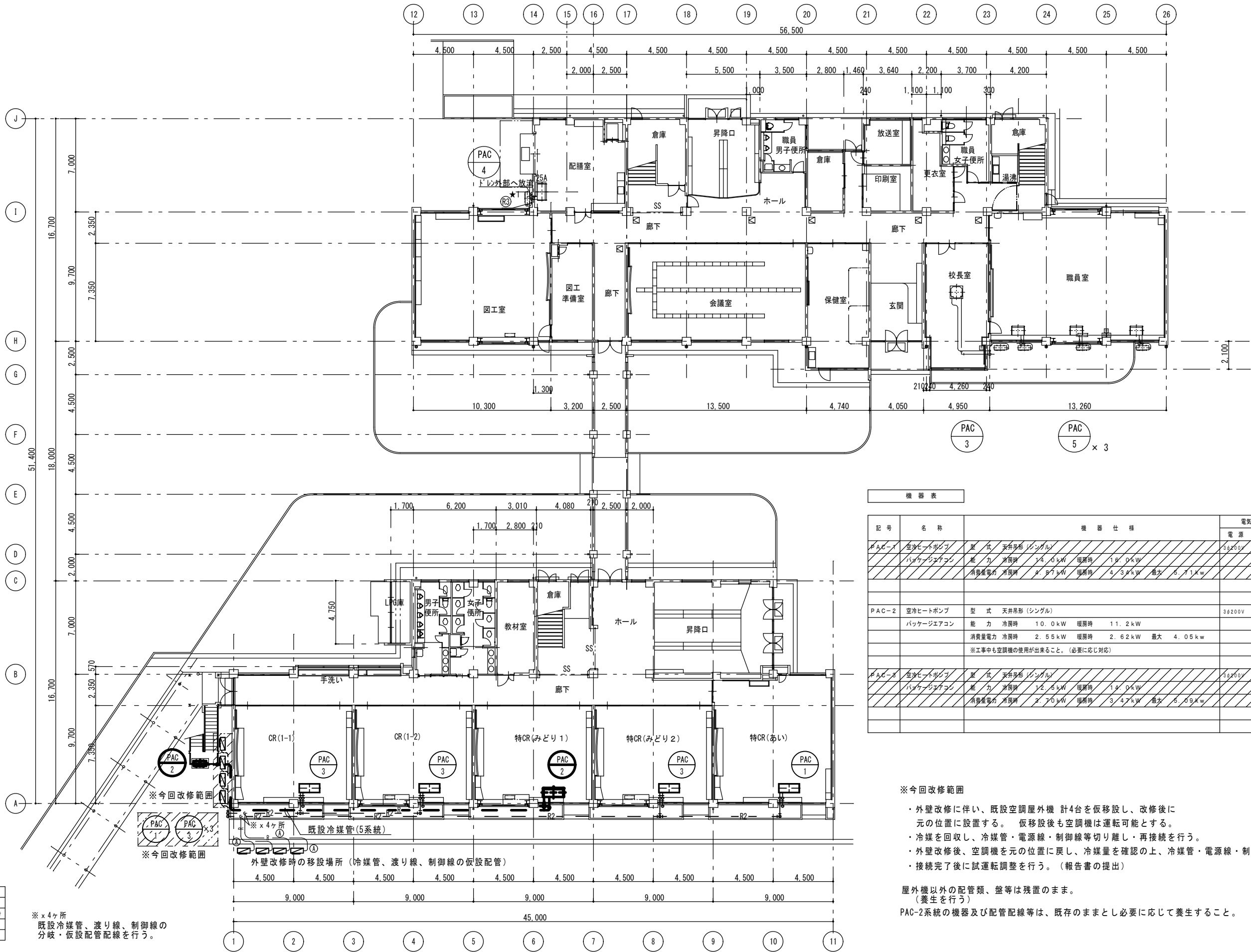


A. 工事概要及び仕様書				章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																		
I 工事概要				1 一般 共通 事項	1 一般 共通 事項	2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	1 一般 共通 事項	3 3 接 地 極	接地極は次にによる。 <table><tr><th>接地の種類</th><th>記 号</th><th>接地抵抗値</th></tr><tr><td>共同接地</td><td>E A、E D</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>A種</td><td>E A</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>B種</td><td>E B</td><td>150/1 Ω以下</td></tr><tr><td>C種</td><td>E C</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>D種</td><td>E D</td><td>100 Ω以下</td></tr><tr><td>避雷設備</td><td>E L</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>避雷設備</td><td>間接地地</td><td>5 Ω以下</td></tr><tr><td>高圧避雷器</td><td>E LH</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>低圧避雷器</td><td>E LL</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>交換機用</td><td>E t</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>通信用</td><td>本配線盤用</td><td>10 Ω以下</td></tr><tr><td>通信用</td><td>加入者保安器用</td><td>100 Ω以下</td></tr><tr><td>測定用</td><td>E o</td><td></td></tr></table>	接地の種類	記 号	接地抵抗値	共同接地	E A、E D	10 Ω以下	A種	E A	10 Ω以下	B種	E B	150/1 Ω以下	C種	E C	10 Ω以下	D種	E D	100 Ω以下	避雷設備	E L	10 Ω以下	避雷設備	間接地地	5 Ω以下	高圧避雷器	E LH	10 Ω以下	低圧避雷器	E LL	10 Ω以下	交換機用	E t	10 Ω以下	通信用	本配線盤用	10 Ω以下	通信用	加入者保安器用	100 Ω以下	測定用	E o		7 受 電 電 設 備	8 計 器	高圧トランスの2次側電流計は最大需要電流計とする。 また、構内第1柱に取付けるAOG等の継電器収納面はｽﾌﾟﾘ製鍵付きとする。																																								
接地の種類	記 号	接地抵抗値																																																																																												
共同接地	E A、E D	10 Ω以下																																																																																												
A種	E A	10 Ω以下																																																																																												
B種	E B	150/1 Ω以下																																																																																												
C種	E C	10 Ω以下																																																																																												
D種	E D	100 Ω以下																																																																																												
避雷設備	E L	10 Ω以下																																																																																												
避雷設備	間接地地	5 Ω以下																																																																																												
高圧避雷器	E LH	10 Ω以下																																																																																												
低圧避雷器	E LL	10 Ω以下																																																																																												
交換機用	E t	10 Ω以下																																																																																												
通信用	本配線盤用	10 Ω以下																																																																																												
通信用	加入者保安器用	100 Ω以下																																																																																												
測定用	E o																																																																																													
1 工事場所 岐阜県瑞浪市土岐町6451-4				3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	3 4 低圧部施工検査	低圧部電気工事完了後に電気設備保安管理業務受託者の確認を受け、報告する。	8 仮 設 工 事	9 その他	a 外線材料は、電力会社規格品とし開放形電気室のフレームパイプはSGP32A、保護フェンスは、クリンパ金網（10#10mm目）とし指定色SGP 2回塗り仕上げ b キュービクルのベースは、溶融亜鉛鍍金仕上げとしロッド棒等が固体と接触する部分はｽﾌﾟﾘ板にて保護する。なお、ｷｬｰﾄﾞﾙ基礎は本工事 ● 別途工事)とする。 c 消防長(消防署長)が火災予防上支障がないと認める構造であること。 ※消防庁告示7号(昭和50年)の準拠による。 d キュービクルは国土交通省仕様とし、配線用遮断機等は埋込型と付とする。 e 新設キュービクル用消火器は(本工事 ● 別途工事)とする																																																																																					
2 用途・構造 主要用途：小学校 構造：RC造 3階建				4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	3 5 受電容量の変更	VCTの更新については中部電力と協議を行うこと。 受注者は、受電容量の変更日を1ヶ月前に発注者へ報告すること。		1 高所作業車	施工は原則高所作業車とするが、作業車が寄り付けない箇所については安全を考慮して足場設置とする。																																																																																					
3 工事種目 1 校舎外壁等防水改修工事 2 上記1に伴う電気設備工事 3 上記1に伴う機械設備工事				5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用し作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	2 空 気 調 節 和 設備	2 空調機器の電動機出力		空調機器の圧縮機、ファン用電動機出力は、冷暖房定格出力を満足すれば設計仕様と異なっても可。	2 足場その他	内部足場 種別() 脚立、足場板等 ● 単管棚足場(3階) ● くさび繋結棚足場 外部足場 種別() A種 ● B種 ● C種 ● D種 ● くさび繋結棚足場 [2.2.1] 防護シートによる覆い() 行う ● 行わない [2.2.1] [表2.2.1] 材料、撤去材等の選別 ● A種 ● B種 ● C種 ● D種 ● E種 [2.2.1] [表2.2.2]																																																																																				
4 工事内容 A・機械設備工事 1. エアコン屋外機移設工事 2. 屋上配管架台更新工事				6) 3)及び4)の建築材料等を使用する場合は、MSDS(化学物質等安全データシート)を監督職員に提出すること。		3 機器表示		室内外機及び冷暖配管には機器番号等の名称を明記のこと。	3 養生	既存部分の養生 ※ ビニルシート等 ● 既存家具等の養生※ ビニルシート等 ● 固定家具等の移動※ 行わない [2.3.1]																																																																																				
5 工事範囲 ※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。				また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJ A S規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用		3 使 用 管 材	1 冷媒管	○ 断熱材被覆銅管とし国土交通省仕様	4 仮設間仕切	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1] <table><tr><th>種 別</th><th>下 地</th><th>仕上材(厚さ mm)</th><th>充てん材</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>● A種</td><td>※ 軽量鉄骨</td><td>※ 合板(※ 9.0)</td><td></td><td>※ 無し</td></tr><tr><td>● B種</td><td>※ 木下地</td><td>※ せっこうボード(※ 9.5)</td><td>厚さ mm</td><td>● 片面</td></tr><tr><td>※ C種</td><td>※ 単管下地</td><td>※ 防火シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮設扉</td><td>※ 木製扉</td><td>※ 合板張り程度 ●</td><td></td><td>※ 無し</td></tr><tr><td></td><td>※ 鋼製扉</td><td>※ 片面フラッシュ程度●</td><td></td><td>※ 有り</td></tr></table>	種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装	● A種	※ 軽量鉄骨	※ 合板(※ 9.0)		※ 無し	● B種	※ 木下地	※ せっこうボード(※ 9.5)	厚さ mm	● 片面	※ C種	※ 単管下地	※ 防火シート			仮設扉	※ 木製扉	※ 合板張り程度 ●		※ 無し		※ 鋼製扉	※ 片面フラッシュ程度●		※ 有り																																																						
種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装																																																																																										
● A種	※ 軽量鉄骨	※ 合板(※ 9.0)		※ 無し																																																																																										
● B種	※ 木下地	※ せっこうボード(※ 9.5)	厚さ mm	● 片面																																																																																										
※ C種	※ 単管下地	※ 防火シート																																																																																												
仮設扉	※ 木製扉	※ 合板張り程度 ●		※ 無し																																																																																										
	※ 鋼製扉	※ 片面フラッシュ程度●		※ 有り																																																																																										
6 事前調査 現地調査等の目的で施設に立ち入る際は、あらかじめ教育委員会教育総務課(0572-68-9831)に許可を得てから行うこと。ただし、学校の都合等によって立入不可となる可能性がある。 また、その際に直接、学校職員等に本工事に関わる質疑や聞き取りは一切、行わないこと。				第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧J I SのE o規格品 ④旧J A SのF o o規格品	4 配 管 試 験 圧 力	1 配管圧力試験	<table><tr><th>配 管 種 別</th><th>試 験 圧 力</th><th>時 間</th></tr><tr><td>冷 媒 管</td><td>機器メーカー指定値</td><td>24時間</td></tr><tr><td>ドレン管</td><td>通水試験</td><td>—</td></tr></table>	配 管 種 別	試 験 圧 力	時 間	冷 媒 管	機器メーカー指定値	24時間	ドレン管	通水試験	—	5 監督職員事務所	※ 設ける ● 設けない 監督職員事務所の規模(単位：㎡) ● 1号(10) ● 2号(20) ● 3号(35) ● 4号(65) ● 5号(100)																																																																												
配 管 種 別	試 験 圧 力	時 間																																																																																												
冷 媒 管	機器メーカー指定値	24時間																																																																																												
ドレン管	通水試験	—																																																																																												
7 特別事項 (1) 本工事は、学校を運営しながらの最中であるため、受注者は施設条件(仮設計画面参照)を十分に理解した上で、学校運営に配慮した施工に努めること。 (2) 学校の夏休みなど、児童が不在の休日に効率的な工事進捗を図るために現場開設が出来ない場合は、従事者の週休2日(4週8休)に取り組む目的として、代替技術者による交代制工事等の対応に努めること。				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			6 工事用水	1. 引き込み ● 本工事において構外から引き込む ◎ 構内の既存設備を利用する ◎ 有償 ● 無償) 2. 設置及び撤去に要する費用等は、請負者負担とする。 3. 設置場所、施工方法は、監督職員と協議する。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
8 工事期間 本工事は、次に示す条件のもと、余裕期間制度(任意着手方式)を準用しており、現場の工事着手に合せた現場代理人及び主任・監理技術者の配置を可能としている。				第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧J I SのE o規格品 ④旧J A SのF o o規格品	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			7 工事用電力	1. 引き込み ● 本工事において構外から引き込む ◎ 構内の既存設備を利用する ◎ 有償 ● 無償) 2. 設置及び撤去に要する費用等は、請負者負担とする。 3. 設置場所、施工方法は、監督職員と協議する。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
9 化学物質を放散する建築材料等				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			8 工事用進入路	1. 関係者合意の上、現況確認の把握をする。 2. 工事用進入路の整備復旧は、すべて本工事とする。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
II 改修工事仕様				第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧J I SのE o規格品 ④旧J A SのF o o規格品	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			9 備考	1. 一般事項 本工事は、既設建物の改修について記するものであり、本章に記載無き事項は設計図書により全準各工事に準拠し入念に施工する。 2. 施工範囲 特記、設計図書及び指示する範囲とする。改修しない部分との取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破壊させた箇所は、請負者の負担で完全に補修する。 3. 既設外壁、内壁撤去等 騒音及びほこりの発生に十分配慮し養生を行うと共に、監督員の承諾を受けて作業を進める。 既存モルタル等のはつり工事に使用する機械は、ビックブレーカー手はつりを原則とし、その他の機械の使用は監督員との協議の上決定する。 はつり工事中において躯体に損傷を与えぬよう養生し、十分注意する。高所におけるはつり工事は、養生シート等により発生材の飛散を防止する。 4. 防音・防塵対策 既設床・壁・天井等のはつり、撤去及び撤出による騒音・ほこり等については周辺の状況等を調査、打合せの上、防音・防塵対策に努めること。 5. その他 改修については、上記指示の他 必要に応じて調査報告書、改修施工計画書を作成し監督員の承諾を受ける。 ※ コンクリート躯体の切断施工に発生する汚泥等は適切に最終処分すること。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
1 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様」という。))により、改修標準仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様」という。))による。				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			5 監督職員事務所	※ 設ける ● 設けない 監督職員事務所の規模(単位：㎡) ● 1号(10) ● 2号(20) ● 3号(35) ● 4号(65) ● 5号(100)
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
2 特記仕様 (1) 項目は、記載されている全ての事項を適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ●○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 国印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特記調達品目を示す。				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			6 工事用水	1. 引き込み ● 本工事において構外から引き込む ◎ 構内の既存設備を利用する ◎ 有償 ● 無償) 2. 設置及び撤去に要する費用等は、請負者負担とする。 3. 設置場所、施工方法は、監督職員と協議する。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
1 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様」という。))により、改修標準仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様」という。))による。				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</th><th>原 紙</th><th>アルミガラスクロス</th><th>着色アルミガラスクロス</th><th>樹脂製カパー</th><th>粘着テープ</th></tr><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井、パイプシャフト内</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">冷媒管(分岐形)</td><td>床下、暗室内</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫、トレンチ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">天井、パイプシャフト内</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>床下、暗室内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> 1 保温箔・鉄線・アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温箔・鉄線でも可。 2 冷媒管の保温箔は、整形用のため保温厚さは特に規定しない。 3 ドレン管の、屋外露出は保温不要。 4 冷媒管の、屋内・屋外露出部分は合成樹脂製カバーにて施工		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙	アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ	ドレン管	屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○	○				天井、パイプシャフト内	○	○	○	○				冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○				屋内露出	○	○				○		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○	天井、パイプシャフト内				○	○			○	床下、暗室内								屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○			7 工事用電力	1. 引き込み ● 本工事において構外から引き込む ◎ 構内の既存設備を利用する ◎ 有償 ● 無償) 2. 設置及び撤去に要する費用等は、請負者負担とする。 3. 設置場所、施工方法は、監督職員と協議する。
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム	原 紙		アルミガラスクロス	着色アルミガラスクロス	樹脂製カパー	粘着テープ																																																																																					
ドレン管	屋内露出	○	○					○																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○	○		○																																																																																								
	天井、パイプシャフト内	○	○	○	○																																																																																									
冷媒管(分岐形)	床下、暗室内	○	○		○																																																																																									
	屋内露出	○	○				○																																																																																							
	機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○					○																																																																																						
天井、パイプシャフト内				○	○			○																																																																																						
	床下、暗室内																																																																																													
屋外露出(多湿箇所、浴室、厨房)	○	○				○																																																																																								
2 特記仕様 (1) 項目は、記載されている全ての事項を適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ●○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 国印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特記調達品目を示す。				改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ◎ 適用する (● 1級電気工事施工管理技士※2級電気工事施工管理技士等) [1.6.2] 建設業法に基づき、必要な専任の監理技術者等を設置すること。 ※ 適用する ● 適用しない [1.6.3] ◎ 配管(建築配管作業) ◎ 熱絶縁施工	5 保 温 施 工 種 別	1 保温施工種別	<table><tr><th></th><th>グラスウール保温</th><th>鉄 線</th><th>ポリエチレンフィルム</</th></tr></table>		グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム</																																																																																			
	グラスウール保温	鉄 線	ポリエチレンフィルム</																																																																																											



冷媒管サイズ 一覧表			
記号	ガス管	液管	備考
①	15.9φ	9.5φ	配線共巻き
渡り線	EM-CCE 2.0 - 3C		
制御線	EM-CES 1.25 - 2C		

※ x 4ヶ所
既設冷媒管、渡り線、制御線の
分岐・仮設配管配線を行う。

機 器 表

記 号	名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所
			電 源	容 量		
PAC-1	空冷ヒートポンプ	型 式 天井吊形 (シングル)	3φ200V	2.350kW	1	CR(あい)
	パッケージエアコン	能 力 冷房時 14.0kW 暖房時 15.0kW				
	消費電力	冷房時 4.97kW 暖房時 4.34kW 最大 5.71kW				
PAC-2	空冷ヒートポンプ	型 式 天井吊形 (シングル)	3φ200V	2.70kW	1	特CR(みどり1)
	パッケージエアコン	能 力 冷房時 10.0kW 暖房時 11.2kW				
	消費電力	冷房時 2.55kW 暖房時 2.62kW 最大 4.05kW				
※工事中も空調機の使用が出来ること。(必要に応じ対応)						
PAC-3	空冷ヒートポンプ	型 式 天井吊形 (シングル)	3φ200V	2.350kW	3	特CR(みどり2)
	パッケージエアコン	能 力 冷房時 12.5kW 暖房時 14.0kW				CR×2
	消費電力	冷房時 3.70kW 暖房時 3.47kW 最大 5.09kW				

※今回改修範囲

- ・外壁改修に伴い、既設空調屋外機 計4台を仮移設し、改修後に元の位置に設置する。 仮移設後も空調機は運転可能とする。
- ・冷媒を回収し、冷媒管・電源線・制御線等切り離し・再接続を行う。
- ・外壁改修後、空調機を元の位置に戻し、冷媒量を確認の上、冷媒管・電源線・制御線等再接続を行う。
- ・接続完了後に試運転調整を行う。(報告書の提出)

屋外機以外の配管類、盤等は残置のまま。
(養生を行う)
PAC-2系統の機器及び配管配線等は、既存のままとし必要に応じて養生すること。

訂正日付		<div>株式会社 浦野設計岐阜支社</div> <div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div> <div>一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第10878号</div>	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
			一級建築士		P2305G	土岐小学校校舎外壁等防水改修工事(2期工事)	M
			第317622号		日付	図面名称	図面番号
			田中 伸平		令和7年12月	空調設備 1階平面図	02